



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

勝浦ロータリークラブ

49期 THE WEEKLY REPORTS

2011-2012年度

No. 26 / Total 2322

例会：2012年3月16日

発行：2012年3月23日

RI会長 カルヤン・バネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員
広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 正己

幹事 漆原 摂子

クラブ会報委員長 渡邊 昌俊
副委員長 齋藤 麻美子
委員 石井 美香子
渡邊 ヒロ子

◆3月23日(金)のプログラム

＜地元の放射能について＞

ゲスト卓話

- ・除村 喜久雄様
- ・林 恒雄様

◆今後の3月のプログラム

30日(金) 休会

●会長挨拶 関正己会長



こんにちは。ここの所、欧州ではギリシャが無秩序な債務不履行を回避し、米国も雇用、消費に改善の見通しが見え中国経済も軟着陸のシナリオがどうやら成功しそうだ、との見方で昨年10月に1ドル75円台迄値上がりした円相場は、83円台に修正され、株価も1万円台を回復してきました。企業の収益力も多少良くなって日銀が目指す、1%のインフレに成ってくれば景気も徐々に良くなってくると思います。

勝浦に於いては、3.11の後の海辺での不安、原発の風評被害などの回復がいつになるのかが心配です。今になって、食品の安全基準を引き下げ50ベクレル以下としましたが、では今までは何だったのかと、緊急時だからと言って、日本の食品自給がひっ迫するわけでもないのに、基準値を上げて食べさせてしまうなんて、おかしいと思いませんか。摂取してしまった内部被曝は元には戻らないのです。

セシウム半減期は30年とされています。体内で70日で外に出ると言われますが、わずか70日で30年分被曝するのです。農漁業などの安全でないものは作らず、生活の保障をすべきと思います。帰宅困難の地域においては、国有地などを代替地として、そっくり街ごと移転出来るよう配慮し、解決する事が被災者にとっての精神的な面のケアにもなるし、経費軽減からも良いのでは、と思います。いずれにしても、東北のロータリー・クラブは活発な支援活動を行って活動しているようです。我々も時を持って支援を行っていきたいと思います。

●幹事報告 漆原摂子君

1. 千倉RCより…元会員間宮林蔵様のご逝去。お通夜・告別式は終了。
2. 鋸南RCより…例会変更のお知らせ、3月29日(木)館山・館山ベイ・鋸南3クラブ合同花見夜間例会18:30～勝山「なぎさ」にて
3. 地区広報・IT委員会がロータリーPRのため30分のTV番組放映予定、各クラブに対し日頃の奉仕活動の様子の動画等を募集、勝浦RCは会長・関一憲地区委員と相談のうえ、料理教室とチャリティーCの2つを提出予定。中村職業奉仕委員長・渡邊ヒロ子さん、DVDの作成ありがとうございました。
4. CM賞…先週G事務所に提出しました。

●委員会報告

◆会員増強委員長 村石愛二君



本日例会終了後、会員増強委員会を開催します。委員以外でも、お時間がありましたら、参加していただければと思います。

◆プログラム委員会 高梨薫敏委員長



本日の週報1ページ目に書いてありますが、今日のプログラムは浅野会員の会員卓話です。来週は、放射能に関する話ですが、当日検査をしてもらいたいものがあれば、持ってきて検査をしていただけるということで、何か心配なものがあれば、お持ちになって下さい。30日は休会です。

●ニコニコBOX

○結婚記念簿

◆中村昇君



3月14日、結婚記念日でした。二人とも少しずつ持病はありますが、今のところ健康ですので、これから仲良く生活していきますので、これからもよろしく願いたします。

◆池田哲夫君



確か、3月11日にもロータリーがあつて、終わってしゃべっていたら地震があり、帰りにガソリンスタンドに行つてガソリン入れて正解でした。結婚記念日っていつだつてと今まで思っていました、これからは大丈夫だと思います。

○自主申告

◆漆原摂子君



2回ほど例会をお休みしてしまったお詫びのニコニコです。官軍塚の清掃作業と先週の例会お休みしてすみません。今後は大丈夫だと思います。あと3か月とちょっと頑張ります。

◆古川範男君



各テーブルに、冥土から蘇つたゾンビのような記事があると思いますが、以前から申し上げている通り、お寺を取り巻く環境は変わっておりまして、生き残りをかけて、無い知恵を絞っている訳ですが、インターネット上にお墓を作りました。渡辺ヒロ子さんの所にシステム

設計をお願いしまして、このほど運用を開始しました。問い合わせもボチボチ来ております。行く先どうなるかという、私のような所はインターネットを活用するしかないかなと。いずれはお寺もインターネット上に作って、ネット檀家を作って、色々なサービスをインターネット上でやるしかないかなと思っています。そうすると楽みたい、仮想空間の中に市場ならぬお寺ができて、そこで何でもあると。10万人、20万人の檀家も夢ではないなど。いずれは読売ジャイアンツを買収できるほどの力を備えたいなと思っていますが、これはあくまでも夢物語です。とりあえず始まりましたので、近所お知り合いに関心のある方がいましたら、ご紹介ください。

納骨は3種類、一番簡単なのは、お寺に無料で預かります。次は海洋葬で、海に散骨します。その次が樹木葬です。お墓を造成してありまして、とは言っても限度はありますが、そこに木を植えて埋骨する。いずれは、こういうのも全部ネットにしようとしています。参考までに言っておきますと、骨の形ではお墓以外には埋骨できません。でも粉にすると無制限です。

◆渡邊昌俊



今日皆様にお願ひがあります。知り合いから、嘆願書を書いてくれということで、ある資料をいただいたのですが、その内容は、厚生労働省で児童デイサービスというものをやっているそうなんですが、それを廃止するそうです。詳細は、学校が終わった後、障害を持つ子を預かってくれるサービスで、そのサービスが廃止されてしまうと、障害者の子を持つ親が正社員として働けなくなったり、全く働けなくなってしまう状態になってしまうそうです。その反対署名をしてもらいたいということで依頼がありました。皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

◆高梨薫敏君



3月14日、一般的にはホワイトデーですが、中村昇さんの結婚記念日ということですが、私にとっては、肝臓切除記念日ということで、今年の3月14日で丸5年が経ちました。お陰様で、前よりお酒も吸い込みが良いようです。これからも頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

◆西尾誠君



今、3月は卒業式のシーズンです。孫が今日卒園式で、区長代理ということで、出席させていただきました。石井美香子さんのお孫さんも一緒にでした。

◆浅野玄航君



普段、不義理しているお詫びと、先ほど素晴らしい賞をいただいたことに感謝をし、入れさせて頂きます。あとでつまらない話をさせていただきます。

◆渡邊ヒロ子君



この日曜日 3 月 11 日に新宿のライブハウスでやったチャリティーライブに参加してまいりました。福島出身の若い男の子達のバンドを中心として、「俺達に何かできることはないか」と集まって、私たちも含め、5 バンドが演奏しました。夕方の 6 時～夜中の 11 時まで。50 歳を過ぎた私には少々きつい面はあったんですが、若者たちのエネルギーを感じ、また同じ音楽をやっているものって、とかく「俺の方がうまい」とか「俺の音楽の方がいい」というような場面があるんですが、全くそれがないんです。お互いがお互いを認め合って、またお互いの音楽を称え合っているんです。その姿に、本当に感動しました。「今の若いものは…」と一度でも言ったことがある自分を恥じた思いもしましたし、これが今の世の中になんてことなんじゃないかなと強く感じて、「まだまだ日本は良いところがいっぱいあるぞって」いう思いで帰ってきました。

●卓話

◆浅野玄航君



来週の卓話の先生が、放射能の話だそうですが、この時期、まだまだ東日本大震災の話から離れられないかなと感じています。昨年 3 月 11 日、私は京都から帰ってくる途中で、東京駅を 14 時の特急に乗りまして、本納のちょっと手前で止められて、そこから歩いた覚えがあります。

今年は、3 月 11 日に気仙沼に行ってまいりました。去年の 5 月 11 日に現地に行って最初の法要を務めさせ

ていただいて、他でも何箇所か回らせていただいて、今年は「3 月 11 日の当日に気仙沼で大法要をやるから集まれ」ということで招集がかかりまして、天台宗の東日本のみならず、九州からも色々な役を持っている天台宗のお坊さんが 100 人くらい集まりました。私達の世界では一番偉い「天台座主」で 94 歳の方や、真盛宗のかんさん、寺門宗のかんさんなど、主な宗の 3 つのかんさんが集まりました。

5 月 11 日と大きな違いがありました。去年の 5 月 11 日にやったときは、300 人くらいの地元の方がご焼香してくれました。観音寺という大きなお寺が残りましたので、そこでやらせていただきました。その時には、長靴を履いたりジャンパーを着たり、作業着を着たりという方が中心でした。黒を着ている人は数えるほどしかいませんでした。

そんな中、私が感動したのは、一般の方で、ジャンパーを着て長靴を履いて、そして誰が見ても一目でわかる自民党の議員さんがさりげなく涙を流していらっしゃいました。

今回 3 月 11 日に参りましたら、ほとんどの方が黒の服を着て、数珠を持って、涙を流していました。やはり、この 1 年間で多少なりとも皆さんの気持ちが落ち着いてきた、或いは地域そのものが前向きになってきたのかなあという姿を見せていただいた気がしました。もう一つ感動したのは、気仙沼の駅前に小さな食堂があった一つあります。12 時過ぎに私達何人かでまとまって、「1 時に集合だから気仙沼の駅前のあの食堂で、飯を食べて行こう」そう思って行ったんです。そうしたところ、食堂のおかみさんが、「今日は実は日曜日でお休みなんです。しかし、ずっと皆さんに助けられ支援していただきました。今日は豚汁と御飯ですが、私達に振る舞わせてください。」無料で、みんなに振る舞ってくださりました。感動して涙が出ました。たくさんの方が来て、大法要となりましたが、やはり「地震じゃないな、津波だな」という思いを新たに感じました。その時につくづく思いましたが、実はこの辺も津波で何回もやられています。たくさんの方が残っています。それがみんな、埋もれたり、忘れ去られたり、或いは他人事のように思われて、今まで過ごして来てしまいました。教訓にならなかったということを反省しなければいけません。ということで、そういう話を今日させていただきます。

たくさんの教訓が残されています。実は、私の所に江戸時代からの過去帳が残っています。御宿でその頃の過去帳が残っているのは、非常に珍しいのです。なぜかという津波で流されましたから。私の所は、お堂が今の場所より高い所にあったようで、それで過去帳が辛うじて残されました。ご存じだと思いますが、お寺の過去帳は江戸時代には、亡くなった方の霊名簿であると同時に、戸籍であると同時に、公式の記録的なものとして、大事に残されていました。今日は、生のものをコピーしてきましたので、見ていただければなあと思っています。

この近辺でも、「津波怖いよ、津波がこういう風に来ているよ」という記録を残したり、企画展のようなもので、やったださっている所があるんです。私の手元に残っているものを今日探して持って来たんですが、昭和52年に関東地区災害科学資料センターという所で、房総半島南部の元禄地震資料を出しています。この辺のことをほとんど網羅しております。安房博物館で昭和51年に地震展をやっています。直近では、平成15年に同じ安房博物館で地震と津波という企画展をやっています。この中に、この近辺の地震と津波の主な資料をほとんど掘り起こして、記録されているんです。その資料の中を見ますと、地震ってこうやって怖いんだよ、津波ってこうやって怖いんだよということを後世に伝えなくてはいけないんだよということが、ちゃんと載っているものがいっぱいあるんです。その中の一つをご紹介します。天津小湊に西蓮寺というお寺があります。漁港のすぐ上にあるお寺ですが、お薬師さんの図示の書いてあるものの中に、「大地震のときは、津波が来ると心得るべし」と、そうやって記してあるんです。大地震が来たら、必ず津波が来るんだよということをずっと知っておかなければいけないよということがちゃんと書いてあるんです。

いまお手元に配ったのは、私の寺の過去帳のもので、私はたまにこれを使うんで、寺の紹介資料に入れてあるものなんです。そこに3回分載せてあります。順不同ですが、一番古いのが真ん中のものです。これが延宝5年(1677年)、そして一番右が有名な元禄の大津波のときの記録です。そして、一番左が宝永4年(1707年)のもので、これは、江戸時代の記録に残っているものでは、一番新しいんですけれども、これが富士山の宝永

火山ができたときの爆発の記録です。

これに載せきれなかったもので、寛永5年(1628年)というのも残っています。これ計算してみますと、たった100年の間に御宿の平地が全部流される津波が4回来ているんです。たった100年です。

最初の宝永5年から次が来るまで約50年、その次が25年、その次が5年…。私は素人ですが、たぶん、この100年間に大きな地震の周期が来たんだろうなあと思っています。それから現在までどれくらい経っているかという300年なんです。不吉な言い方をすると、去年のあの津波から連動した津波が、この例でいえば、300年おきに100年の間にあるのかなあと、そんな気がしています。

ところが、地震や津波が明日来るかも知れません。1000年後に来るかも知れないというレベルですから、どのような対策をするのかというのは個人個人のレベルではなかなか考えられませんが、一つだけ言えるのは、この資料を見ますと、一番最初の寛永5年の時の地震で、54人が津波で流されて亡くなっています。亡くなった人の数がだんだん減っているんです。ということは、過去の津波を学習して、そしてまだ知っている人がいる間は、その津波に対しての教訓が生き残っているんです。津波がある毎に、犠牲になる人の数が減っているのです。

この資料、たぶん勝浦のどこかにもあるのかも知れませんが、この資料を作った方が、先代の時代の方ですが、私の祖父が資料を作るのに協力したらしく、手紙を入れてくれました。「元禄地震の資料は、来るべき第二次関東震災の予知防災研究において重要な価値を有しております。」こういうことを一生懸命にして下さっている方の頭にあるのは「次のために」という思いが十分にあると思います。

やはり、東北でも言われていましたが、昔の人がこうやって言ったということでも有名か言葉が残されています。「津波でんでんこ」という言葉が一時有名になりました。非常に、非情な言葉のように聞こえていますが、昔の経験した人からの言い伝えが、だんだん忘れてきて、まさに自然災害は「忘れた頃にやってくる」ということなんだろうと思います。

ですけれども、私達これから貴重で悲惨な経験、或いは聞き伝えを、次へと残していかなければいけないと、先日気仙沼へ法要に行ったときに感じました。

このことは、よそ事の話ではありません。御宿や勝浦の話なんです。勝浦にも、企画展のときの資料を見ますと、高照寺に記録が残っています。高照寺の過去帳にもかなり詳しく出ています。色々なところで、こういうのを調べたり、残したりしていく必要があるんじゃないかなあと、或いは浜行川の方の記録も随分載っています。

ですから、地震のときには、こうした方が良いんだよ、津波のときには、こうした方が良いんだよというのは、そういうものを少しずつ掘り起こして調べて残していけば、次のときに役に立つ、いや役に立たない方が良いんですが、そういう気がします。

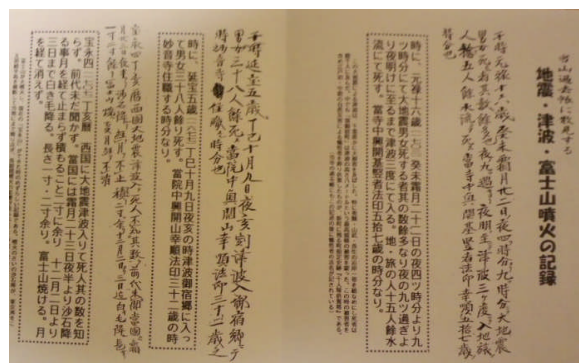
天台宗でも東北の被災地に対して、色々な支援をさせていただきながら、最後は何箇所かに碑を残そうと準備をしています。ただどうしても坊さんの世界である碑だと鎮魂碑とか供養塔のようなものになりがちなので、私達は将来の教訓になるような碑にしよう、「津波を忘れるなよ、地震が来たらすぐ逃げるんだよ」というような碑、少しでも指針になるような碑を残していかなければいけない。ただの供養塔では、何にもならないということで話をすすめています。

もう一つは、お聞きになったことがあるかも知れませんが、特定非営利団体アムダという組織があるんです。岡山の方を本拠地にして、活動している組織なんです。「国境なき医師団」ってありますね。あれのミニチュア版みたいな組織があるんです。要するに、初期医療活動を災害があったときにすぐに動いて、そこで初期の医療活動をしていこうという組織があるんです。で、その組織が、色々な地域に拠点が欲しいと言っています。その拠点を何をやって欲しいと言わないと、地域で災害があったときに「そちらどうですか？車で行けますか？」「1週間でも2週間でも、そこに置いてもらえますか？」そこから、「近くで災害があった地域で医療を必要としている人達の初期医療に伺いますよ」というような拠点になる所を欲しいんだと言うんで、私達天台宗の方にも一昨年あたりから接触がありまして、多少なりの資金の援助をさせていただいております。

この拠点作りを、すすめていこうと。それには寺が一番良いじゃないかと。建物があるじゃないかと。誰かが住んでいるじゃないかと。敷地があるじゃないかと。無理なことをしてくれって言うんじゃない。それだけで良いんだと。連絡が取れば良いんだと。道順を教えてくれれば良いんだと。で、私達ができることは、最大2週間ですよと。まず行って、そしてそこからどこへ医者や、或いは看護師を必要としているところへ派遣をして、そして地域の医療機関に引き継ぐまでが私達の仕事ですよ。そうしたら、私達は引き上げます。そういうような組織があるんです。

これからしばらくかけて、例えば私は千葉県南総といいまして、南半分のお寺の中で2箇所でも3箇所でも拠点として登録して、もし万が一こちらで何かあったときには、そっちから連絡がくる。拠点として使えますよ。場所はありますよ。電話ありますよ。多少の医療物資を置けるスペースはありますよ。アムダが言っているのは、その拠点が欲しいと言っているのです。どこへ何をしに、どうやって行っていいのかわからないと。費用については、全部アムダが負担しますよと。

あまり表面には出ませんが、東日本大震災でも、結構活動している組織です。地味な組織です。そういう所に少しでも拠点としての協力程度ならできるんじゃないかなとすすめています。



出席報告 3月16日(金) 出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
37名	25名	5名	7名	81.08%

欠席：内田秀実、小林悠基、斎藤義典、前田安彦、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男